



吉藤町内会 だより

令和4年(2022年)6月号

発行 松山市吉藤町内会

編集 青野 健治

yoshifuji.chounaikai@gmail.com

大雨による災害に備えましょう

愛媛県における大雨や強風による主な災害(昭和40年以降・被害総額100億円以上)を表にまとめました。

東予地方で多数の河川が決壊した昭和51年の台風第17号、暴風による塩害や高潮被害が生じた平成3年の台風第19号、3か月連続で襲来した平成16年の台風第16・21・23号などは、ご記憶の方が多いのではないかと思えます。

特に、平成30年7月の梅雨前線豪雨(西日本豪雨)では、宇和島市や西予市などを中心に死者・行方不明者34人、被害総額919億円と甚大な被害に見舞われ、私たちの吉藤でも土砂崩れなどが発生しました。

大きな風水害は、全て6月から10月に発生しています。これから本格的な梅雨、台風シーズンを迎え、近年は温暖化に伴い頻繁に豪雨となっていますので、土砂災害や浸水被害に十分備えておきましょう。

年月日	原因	被災地域	人的被害				家屋被害			被害総額	
			死者	不明	重傷	軽傷	全壊	半壊	床上浸水		
昭和45年(1970年)	8.15~21	台風第9・10号	県下全域	2	-	168	/	1,118	9127※	405億円	
昭和50年(1975年)	8.16~18	台風第5号	県下全域	4	-	42	/	93	6843※	214億円	
昭和51年(1976年)	9.8~13	台風第17号	特に東予	11	-	47	/	57	110	2,177	675億円
昭和54年(1979年)	6.26~7.4	梅雨前線	県下全域	-	-	11	/	12	7	257	205億円
昭和55年(1980年)	9.10~11	台風第13号	県下全域	2	-	23	/	1	3	9	122億円
平成2年(1990年)	8.21~23	台風第14号	南予	-	-	5	11	6	68	3	104億円
平成3年(1991年)	9.27~28	台風第19号	県下全域	1	-	2	47	64	158	1,251	517億円
平成5年(1993年)	9.3~4	台風第13号	県下全域	1	1	-	5	2	-	129	128億円
平成10年(1998年)	10.17~18	台風第10号	県下全域	2	-	1	1	5	2	163	113億円
平成11年(1999年)	9.14~15	台風第16号	県下全域	-	-	-	1	-	2	100	223億円
平成16年(2004年)	8.29~31	台風第16号	大州市他	1	3	2	11	4	5	426	148億円
	9.28~30	台風第21号	東予東部他	14	-	5	10	31	281	1,628	138億円
	10.18~21	台風第23号	東予東部他	5	-	-	5	7	8	82	132億円
平成30年(2018年)	7.5~9	梅雨前線	特に南予	33	1	35	/	627	3,118	191	919億円

< 上期町内会費集金のお礼 >

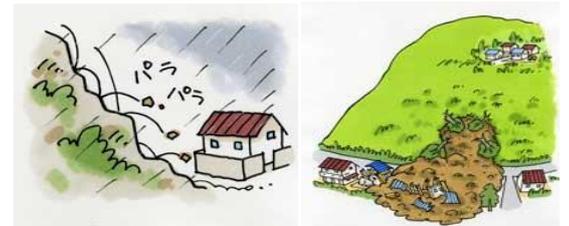
6月5日に上期町内会費を収納しました。皆様ご協力ありがとうございました。

集金額:
3,374,000円
吉藤町内会長
藤村和男

※印は床上浸水含む。

【日頃から防災準備をすすめておこう!】

- 家族間で安否確認の手段など、災害時の行動を確認
- 非常時の持ち出し品などを準備
- 避難場所や避難所、避難経路を確認



【気象情報や松山市の避難情報に留意し、危険を感じたら早めに避難しよう!】

山から小石が落ちてくるのは、土砂崩れの前兆のおそれあり。

警戒レベル	避難情報	住民がとるべき行動	情報発信	
警戒レベル 5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!	市町が発令	
~ ~ <警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難! > ~ ~				
警戒レベル 4	避難指示	危険な場所から 全員 避難		
警戒レベル 3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等 避難	気象表が	
警戒レベル 2	大雨・洪水・高潮注意報	避難に備え、ハザードマップなどにより 自らの避難行動を確認		
警戒レベル 1	早期注意情報	防災気象情報などの最新情報を注意するなど 災害への心構えを高める		

【避難時の注意】

- 松山市の避難指示の発令により、安全なルートで避難場所(自主避難所:潮見公民館)に避難してください。
- ただし、大雨や浸水の中での避難は、危険で困難です。
- 無理に避難するよりも自宅の高い階に避難したり、その場に留まった方が安全な場合もあります。周りの状況を慎重に判断して行動しましょう。